

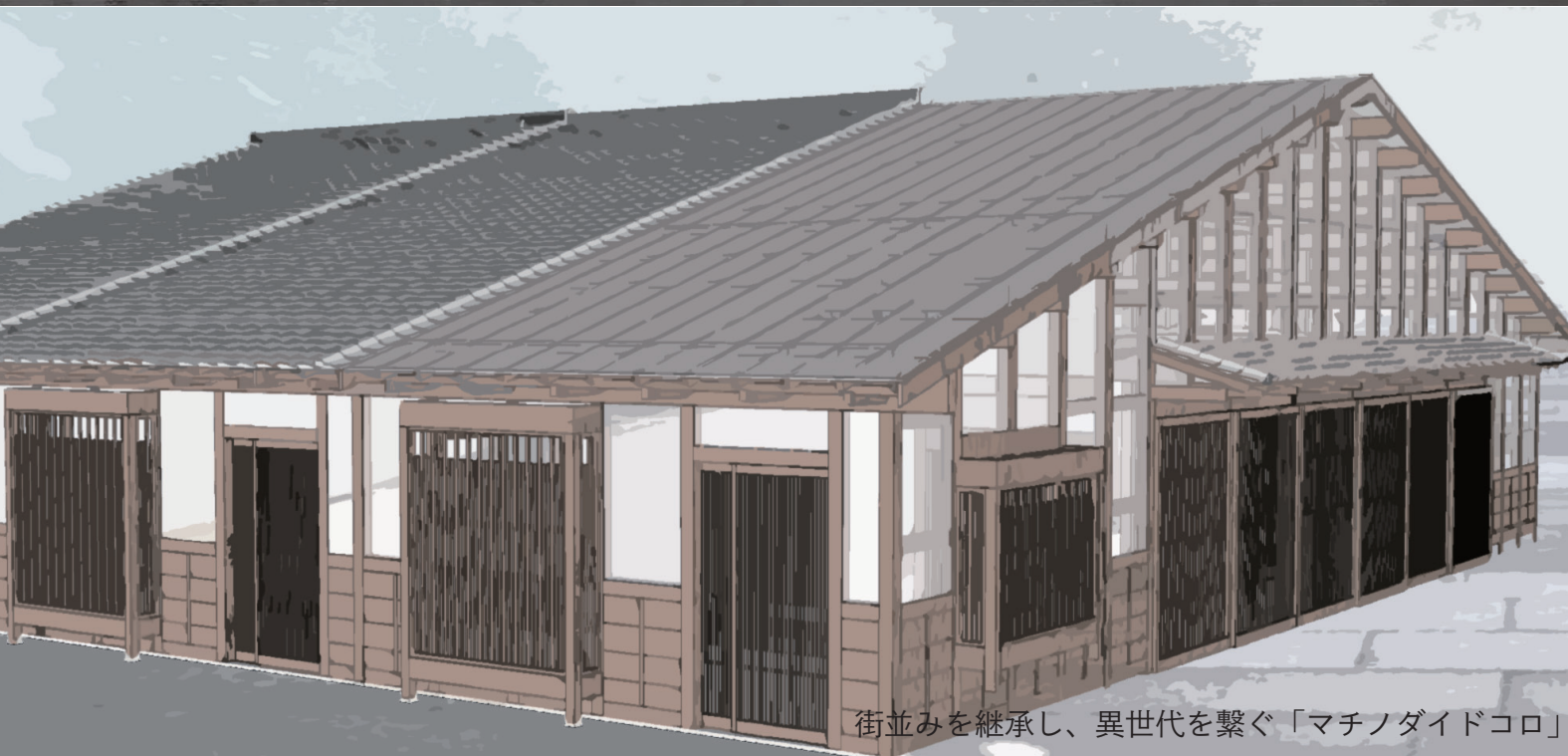
マチノダイドコロ

応募テーマ：A

屋外とも屋内とも言えない、透明感のある「マチノダイドコロ」は、その日の天気や時間帯の雰囲気を食卓に反映させ、非日常を生活者に感じさせる。友達、家族間での団欒が、町に溶け込み、しだいに町の団欒につながっていくだろう。



天気や時間帯によって表情を変える食卓

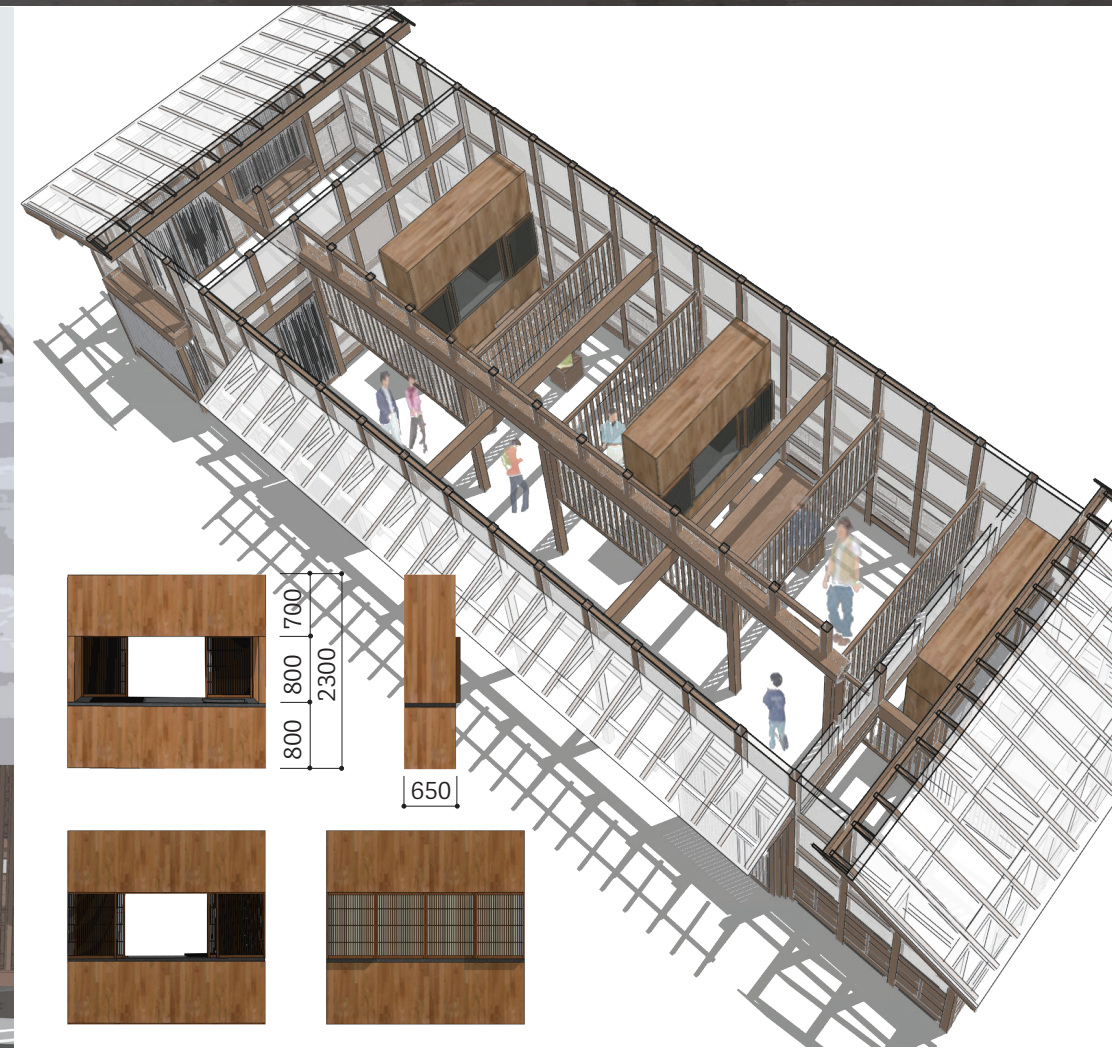


街並みを継承し、異世代を繋ぐ「マチノダイドコロ」



部戸によって、一礼を促し、食への感謝を忘れない場所へ

緩やかに視線を繋ぐキッチン



□ 背景と目的

近年、空き地空き家問題は深刻になりつつある。特に住宅は、住まう人がいなくなると劣化が激しくなり、街並みを壊してしまうことに繋がってしまう。

そこで本計画では、空き家の躯体のみを残し、壁の部分をガラスに変更することで、街並みを継承しながらも新しい地域コミュニティを創出する。

□ プラン

現在空き家となっている町家をリノベーションし、3つの食卓とみんなの食事室を設ける。外部と内部は、地続きになっており、緩やかに空間を繋いでいる。基本的に開放しているため、誰でも自由に利用できる。各自で食料を持ち寄って料理をする想定なので、冷蔵庫などは置かない。食卓を利用する際の電気代等は各自自治体でまかなうが、利用する際、みんなの食事室におかずを提供し、単身者や、老人達の食事を提供することで、地域の人々の関係性を再構築する。また部戸によって、可変的に内部空間を仕切り、緩やかに視線を繋ぐ。